

# 製品の安全な使用に関する手順書（S U I S）

発行日：2022年2月24日

---

## 0. 序

ガラス長繊維は、製品の安全データシート（SDS）の発行が義務付けられている労働安全衛生法上の名称等を通知すべき有害物、および、化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）上の性状及び取り扱いに関する情報を提供すべき物質（15項参照）には含まれません。このためSDS発行の義務はありませんが、お客様のご要望に応じて当該シートを発行しています。また、アーティクル（成形品）であるガラス長繊維は、GHS対象外です。成形品ですが、JIS Z 72531の用語に従い、「化学品」の呼称を一部使用しております。

---

## 1. 製品及び会社情報

製品名：	NEOブリッジテープ（ガラス長繊維製品）		
販売者：	会社名	メーコー株式会社	
	住所	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-9-8 朝日生命宮益坂ビル7階	
	電話	03-6451-1421	
	FAX	03-6451-1420	

---

## 2. 危険有害性の要約

ガラス長繊維製品は成形品です。事業者向けGHS分類ガイダンス（平成27年3月 経済産業省）では成形品はGHS適用範囲外です。取り扱いに際しては、以下事項についてご注意ください。

- 1) ガラス繊維に触れると、皮膚、眼、喉や鼻などに一時的にかゆみや痛みを引き起こすことがあります。
- 2) ガラス繊維の表面に付着している集束剤表面処理剤は、一般的には可燃性です。

## 製品の安全な使用に関する手順書（S U I S）

### 3.組成及び成分情報

化学名	一般名	含有量Wt.%	CAS番号	
アルミナ硼けい酸ガラス	Eーガラス	94.3%	65997-17-3	
-	共重合体ラテックス コロイダルシリカ	5.7%	—	別紙 1
			—	別紙 2

\* 以下ガラス繊維の説明と成ります。共重合体ラテックス、コロイダルシリカについては、別添のSDSを参照願います。

### 4.応急措置

#### 吸入した場合:

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。清浄な水で10回うがいをして下さい。また、軽く鼻をかんで下さい。また、軽く鼻をかんでください。もし、鼻や喉にかゆみや痛みなどの異常が残るようであれば医師の診断、手当を受けてください。

#### 皮膚に付着した場合:

絶対にこすらないで下さい。多量の水で洗い流してください。汚染された衣服は直ちに脱ぎ、再使用する場合は洗濯をしてください。皮膚にかゆみや痛みなどの以上が残るようであれば医師の診断、手当を受けてください。

#### 眼に入った場合:

絶対にこすらないでください。清浄な水で最低15分間、注意深く洗い流しをして下さい。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合には外し、その後も洗浄を続けてください。もし、眼の刺激が継続するようであれば、医師の診断、手当を受けてください。

#### 飲み込んだ場合:

水で良く口を洗って下さい。必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

### 5.火災時の措置

#### 適切な消火剤:

ガラス繊維自体は水、炭酸ガス、泡、ドライケミカル、粉末のいずれにも有効です。但し、まわりの状況(発火原因など)によって適切な消火剤を選定して下さい。

#### 使ってはならない消火剤:

情報なし。

#### 消火方法:

通常の消火方法を取って下さい。

#### その他の情報:

ガラス繊維自体は不燃性ですが繊維上に加工した集束剤や表面処理剤は一般に可燃性です。  
燃焼時には通常発生するCO、CO<sub>2</sub>、H<sub>2</sub>O以外の危険有害な燃焼副生成物はほとんど発生しません。

### 6.漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

必要に応じて、保護マスク、保護手袋、保護眼鏡を着用して下さい。

#### 環境に対する注意事項:

特にありません。

#### 封じ込め及び浄化の方法・機材:

床面などにこぼれた場合は、速やかに粉じんが飛散しないように静かに清掃し空容器や袋等に詰めて一般的な産業廃棄物と同様の扱いとして下さい。

## 製品の安全な使用に関する手順書（S U I S）

---

### 7. 取扱い及び保管上の注意

---

#### 取扱い:

出来る限り、吸い込んだり、眼や皮膚に触れたりしないようして下さい。必要に応じ手袋、保護眼鏡(ゴーグルタイプが望ましい)、防じんマスク(国家検定品:取り換え式・使い捨て式)をお使い下さい。

ガラス繊維は、静電気を帯びる性質があります。静電気による電子部品の破壊や爆発、引火の原因となることも考えられますので、必要な処置を講じてください。

#### 保管:

安全上の注意事項は、特にありません。

---

### 8. ばく露防止及び保護措置

---

#### 許容濃度等:

##### 管理濃度:

・粉じん障害防止規則:3.0mg/m<sup>3</sup>

##### 許容濃度:

・日本産業衛生学会勧告値(2018年度版):2mg/m<sup>3</sup>(吸入性粉じん)、8mg/m<sup>3</sup>(総粉じん)

・OSHA15mg/m<sup>3</sup> TWA(total dust)、5mg/m<sup>3</sup> TWA(respirable dust)

・ACGIH:1fiber/cm<sup>3</sup> TWA(respirable fraction)

#### 設備対策:

粉じんを発生する切断・研磨等の作業、ミドルファイバー等の粉体状の製品の取扱い作業などを行う場所には、局所排気装置を設置して下さい。(設置が困難な場所でこれらの作業を行う場合には、防じんマスク(国家検定品)を着用して下さい)。また、洗顔・洗身・うがい・更衣・洗濯設備等の設置も望ましいです。

#### 保護具:

作業環境を考慮して、必要に応じて、次の保護具をお使い下さい。

・呼吸用保護具:防じんマスク(国家検定品:取替え式・使い捨て式)

・手の保護具 :皮手袋等ガラス繊維を通しにくい材質の手袋

・眼及び/又は顔面の保護具 :保護眼鏡(ゴーグルタイプ)

・皮膚及び身体の保護具:上衣:襟付き長袖(手首の締まった)でゆったりしたもの

下衣:長ズボン(足首の締まったもの)

---

## 製品の安全な使用に関する手順書（S U I S）

---

### 9.物理的及び化学的性質

---

**物理状態:**繊維状固体

**色:**白色

**臭い:**ほぼ無臭。わずかに臭いが感じられる場合もある。

**融点(°C):/凝固点:(軟化点)約840**

**沸点:**データなし

**可燃性:**ガラスは不燃性ですが、表面処理剤は一般には可燃性です。

**爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:**該当しない

**引火点:**該当しない

**自然発火点:**該当しない

**分解温度:**データなし

**pH:**データなし

**動粘弾性:**該当しない

**溶解度(水):**データなし

**n-オクタノール/水分配係数(log値):**データなし

**蒸気圧:**データなし

**密度及び/又は相対密度:**約2.6(塊状)

**相対ガス密度:**該当しない

**粒子特性:**データなし

---

### 10.安定性及び反応性

---

#### 反応性

特記すべき反応性はなし。

#### 化学的安定性

通常の状態では安定です。

#### 化学有害反応可能性

特記すべき条件なし

#### 避けるべき条件

特記すべき条件なし

#### 混触危険物質

知見なし

#### 危険有害な分解生成物

知見なし

---

### 11.有害性情報

---

#### 急性毒性:

データなし

#### 皮膚腐食性/皮膚刺激性:

職業ばく露で機械的刺激により、強い掻痒と刺激を生じた。これらの機械的刺激は一時的であり、5µm径以上の繊維との関連がある。また、職業ばく露で刺激性の皮膚炎も生じている。4-13µm径の長繊維(表面処理剤なし)を用いたヒト皮膚に対するパッチテストで異常は認められなかった。

#### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:

職業ばく露で機械的刺激が認められている。この機械的刺激は一時的であり、5µm径以上の繊維との関連がある。

(ACGIH(2001)、ATSDR(2004))。

#### 呼吸器感作性又は皮膚感作性:

データなし。

#### 生殖細胞変原性:

データなし。

## 製品の安全な使用に関する手順書（S U I S）

### 発がん性:

IARCでグループ3(ヒトに対する発ガン性に分類されない)。ACGIHでA4(人に対し発がん性物質として分類できない物質)に分類されている。

### 生殖毒性:

データなし。

### 特定標的臓器毒性(単回ばく露)

職業ばく露で一時的な気道刺激性が認められているが、ばく露がなくなると消失する。

### 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

ガラス繊維は吸入の可能性がなく、また労働者の疫学調査においても健康への有意な悪影響は認められていないとの情報がある。

### 誤えん有害性

データなし。

---

### 12.環境影響情報

---

生態毒性: データなし

残留性・分解性: データなし

生体蓄積性: データなし

土壌中の移動性: データなし

オゾン層への有害性: データなし

---

### 13.廃棄上の注意

---

廃棄の方法は一般的な産業廃棄物と同様に取り扱いってください。その他関係法令の定めるところに従ってください。

---

### 14.輸送上の注意:

---

国連番号: 該当しない

品名(国連輸送名): 該当しない

国連分類: 該当しない

容器等級: 該当しない

海洋汚染物質: 非該当

国内輸送規制: 該当しない

特別の安全対策: 輸送に関しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に  
行う。重量物を上積みしない。

## 製品の安全な使用に関する手順書（S U I S）

### 15.適用法令

#### ・労働安全衛生：

第57条による表示対象物質(ラベル)：該当せず。

第57条の2に基づく通知対象物質(SDS)：該当せず。(注1)

第57条の2に基づく通知対象物質：含有していません

#### 粉じん障害防止規則

別表1の第6号の鉱物(ガラス繊維)を裁断等する場所において作業を行う場合には、労働安全衛生法施行令の規定に定められた「粉じん障害防止規則」が適用されます。ガラス繊維では遊離けい酸が0%であり、粉じん管理濃度は次式に従い $3.0\text{mg}/\text{m}^3$ となります。 $E=3.0/(1.19Q\div 1)$  (E:管理濃度、Q:粉じん中の遊離けい酸含有率(%))  
(「作業環境評価基準の一部を改正する件等の施工等について」厚生労働省労働基準局長 基発第0331024号 平成21年3月31日)

「粉状物質の有害性情報の伝達による健康障害防止の取り組みについて」(基案発1024平成29年10月24日)において、表示通知義務の対象とならない物質についても、粉状物質の有害性情報の伝達が推奨されております。粉状物質のリスク周知及び「8.暴露防止・保護措置」の対応を推進下さい。

- ・消防法：危険物 該当せず。  
指定可燃物 該当せず。
- ・毒物及び劇物取締法：毒劇物 該当せず。
- ・化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)：該当せず。(注2)
- ・化学物質審査規制法(化審法)：特定化学物質 該当せず。  
監視化学物質 該当せず。  
優先評価物質 該当せず。

※注1：労働安全衛生法に基づくラベル表示及びSDS交付義務対象物質として同法施行令別表第9条314号に「人造鉱物繊維」が掲げられていますが、下記通達で「第314号の「人造鉱物繊維」には、ガラス長繊維は含まれないものであること。」とされています。(「労働安全衛生法及び作業環境測定法の一部を改正する法律の施行について」労働省労働基準局長基発第162号 平成12年3月24日)

#### 注2：化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)に関して

施行令別表第1の第1種指定化学物質に「ほう素化合物」があげられており、ガラス長繊維は、ガラスの構成物質として「ホウ素」を1%以上含有した「ガラス製品」ですが、通常のご使用の範囲であれば、PRTR法の届出の対象にはなりません。但し、お取り扱いの過程で溶融、蒸発又は溶解等を伴う工程においては、当該化学物質の排出量、移動量の届出が必要となりますので、ご注意をお願い致します。

## 製品の安全な使用に関する手順書（S U I S）

---

### 16.その他の情報

---

#### 1)参考文献

- \*「許容濃度の勧告」産業衛生学会誌 60巻（2018）
- \*「Monographs on the Evaluation of the Carcinogenic Risks to Humans Vol. 81（2002）  
“Man-made Vitreous Fibers”」  
International Agency for Research on Cancer(IARC:国際がん研究機関)
- \*ACGIH（2001）（改定第14版）
- \*ATSDR（2004）
- \*「産業用ガラス長繊維製品のヒト皮膚に対するパッチテスト」(社)日本毛髪科学協会委託試験  
報告書(平成23年2月7日 毛髪研究第22044号(3))

#### 2)主要国の既存化学物質の登録状況

- \*欧州商業用既存化学物質台帳(EINECS)

EINECS番号	266-046-0
CAS番号	65997-17-3
登録名称	Glass, oxide, chemicals
- \*化学物質の登録、評価、認可及び制限に関する規制(REACH)  
ガラス長繊維は成形品のため登録対象ではありません。
- \*米国有害物質規制法(TSCA)化学物質台帳

CAS番号	65997-17-3
登録名称	Glass, oxide, chemicals
- \*カナダ国内物質リスト(DSL)

CAS番号	65997-17-3
登録名称	Glass, oxide, chemicals
- \*中国現有化学物質名録

CAS番号	65997-17-3
登録名称	Glass, oxide, chemicals
- \*韓国既存化学物質目録(KECI)

KECI番号	KE-17630
CAS番号	65997-17-3
登録名称	Glass, oxide,
- \*オーストラリア化学物質インベントリー(AICS)

CAS番号	65997-17-3
登録名称	Glass, oxide, chemicals
- \*ニュージーランド化学物質インベントリー(NZIoC)

CAS番号	65997-17-3
登録名称	Glass, oxide, chemicals
- \*フィリピン化学品及び化学物質インベントリー(PICCS)

CAS番号	65997-17-3
登録名称	Glass, oxide, chemicals
- \*台湾既有化学物質インベントリー情報システム(CSNN)

CAS番号	65997-17-3
登録名称	Glass, oxide, chemicals
- \*タイ国既存化学物質インベントリー

CAS番号	65997-17-3
登録名称	Glass, oxide, chemicals

- 3)記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常通りの取り扱いを対象としたものであって特殊な取り扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご使用ください。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。